

第9期第2回 新潟市中地区公民館運営審議会 議事概要

日 時： 令和6年2月16日（金） 午前10時～11時30分

場 所： 新潟市中地区公民館 講座室

出席者： 新潟市中地区公民館運営審議会 石井委員、遠藤委員、海津委員、齊川委員、佐藤委員、永井委員、野本委員、坂内委員、古川委員、良知委員

事務局： 中地区公民館（青柳・池田・佐藤）、石山地区公民館（山田・久保田）

1 開 会

2 中地区公民館長 あいさつ

3 委員あいさつ

4 議事

(1) 令和6年度事業に関する委員提案について

(各委員) 各委員から提案内容について説明

(委員) ジェンダーに関する事業やLGBTQの事業は考えているか。

(事務局) 中地区ではR4年度に人権講座でLGBTQに関する事業を行った。R5年度は発達障がいテーマを行う予定。R6年度は人権講座を予定しているが内容は未定。

(委員) 委員のジェンダーに関する事業の提案は、LGBTQというより、どちらかというとな男女共同参画を考えているのでは。

(委員) 乳児期家庭教育学級の中でジェンダーの視点を取りあげることとは違う、縦の関係で歴史を学ぶ講座を行って欲しい。各講座にジェンダーの視点を入れることはとても大事。

(委員) 委員の提案の学習場所の充実について、フリースペースなどの学習の場は足りているか。

(事務局) 今は学習室を週末や長期休暇のみ開放している。1階のフリースペースは随時大勢の利用がある。特にテスト前は利用が増える。来年度は石山地区と同じく、学習室を通年で開放する予定。

(委員) 東区役所は、学生だけではなく、一般の方も多い。

(事務局) 個室は人気がない。1階は子どもたちも大勢いる。

(委員) 入りやすい環境もある。

(委員) 広報はどのようにしているか。

(事務局) 東区だよりで、4月と、夏休み・冬休み前に掲載し、ホームページや近くの小中高校へチラシやポスターを配布している。

(2) 令和6年度事業計画について

(事務局) 令和6年度事業計画について説明。

(委員) 石山地区のコミュニケーション力アップセミナーは石山中学校との取り組みだが、中学校は決まっているのか。

(事務局) 石山中学校の授業（総合学習）と連携している。公民館の朗読サークルの講師を指導者として依頼するなど、公民館の利用者の人材を活かしている。石山中学校の学校運営協議会の委員として繋がりがあり連携しているが、今後、出来たら他の中学校との連携も考えているので声をかけて欲しい。

(委員) 食い込む機会があれば展開したい。

(委員) 中地区が桃山小学校サークル活動体験会をやっているが、そこへ山の下小学校も一緒にできないか。

- (事務局) 今年度は「公民館について学ぶ」と、「サークル活動体験」の日を設けたが、桃山小学校の授業日数の関係で、次年度は1つになりそう。どちらにするのか調整中であり、またサークル側の受け入れられる人数もある。
- (委員) 山の下小学校と桃山小学校は、同じ中学校へ行く。ともに学びあえる機会があれば、という意見があった。
- (事務局) 小中合同学校運営協議会でそのようなご意見があったことは聞いている。あとでお話をお聞かせいただきたい。
- (委員) 中地区のちいきのサロンは、公民館版の地域の茶の間かと思うが、手伝ってくれているスタッフはどのような方か。
- (事務局) 活動協力員や参加者の一部の方がボランティアスタッフとして関わっており、現在4名いる。
- (委員) 両公民館とも令和5年度からの継続事業が多いが、新規事業や拡充した事業はあるのか、特に重点を置いている事業はどれか。
- (事務局) 中地区は新規事業として親子防災教室を行うなど、防災に重点を置き学校と連携しながら事業を行う。また、アクティブシニア講座は、活動協力員が自ら地域の課題を探り、一緒に企画・運営を行う。
- (事務局) 石山地区の新規は、小学生期に代わり児童期家庭教育学級を行う。16番の人権講座は、来年度は国の委託事業で発達障がいに関する事業を行うほか、1年を通して3カ月に1回ほど計画している。地域の課題として捉え、手厚く進めていきたい。
- (委員) 公民館独自、学校独自で事業はやっていけない。連携しながら考えて行って欲しい。
- (委員) 文化祭はいい作品が多く見ごたえがあるが、来場者が少ない。ポスターやチラシ以外で、外部と連携し、講演会などのイベントと同時開催にするなど、来場者が多くなるようなことを考えて欲しい。

5 その他事項

- (事務局) 下記のことについて説明
- ・今後の公民館運営審議会の設置見直しの方向性
 - ・公の施設に係る受益者負担の設定基準(案)
 - ・公共施設の再編に関する石山・東石山地域実行計画策定(案)
- (委員) 新潟市は学社民の融合に取り組んでいて素晴らしい。新潟市の公民館全体で、共通で取り組むことは何か。
- (事務局) R6年度予算を編成するにあたり、中央公民館から地域や学校、企業と連携した事業を行い子どもたちを見守る、デジタルデバイドの解消に向け、オンライン講座の開催などに取り組んでいくことが示された。
- (委員) オンライン環境は整ったのか。
- (事務局) 以前と同じだが、工夫して行う。
- (委員) 竹尾、木戸地域との関わりはあるのか。
- (事務局) 小学校からの依頼で、総合学習の講師として地域の人材を紹介した。また、人権講座にひまわりクラブの指導員の皆さんが参加してくれた。
- (委員) 問題も多くあるので、関わりを検討してもらいたい。

6 閉会

【配布資料】

第9期第2回中地区公民館運営審議会 会議次第
 令和6年度事業に関する委員提案(資料1)
 令和6年度事業計画(資料1-1、1-2)